

戦争がなければ

那覇市立天久小学校四年 知念 由依

黄色い花をつける想思樹のなみ木の中を、
友達とわらいながら歩く。

運動会でのリレーやダンス

発表会のげき

すきなことは、ハンカチをぬうこと

友達とのこうかん日記

今の私とかわらない楽しそうな学校生活

戦争の足音がすこしずつ近づいてくる。

軍歌を歌い

お気に入りのセーラー服はモンペへと変わった。

勉強のかわりに始まった、

戦争の手伝いや訓練。

「お国のためにがんばりなさい。」

先生がいる、友達がいます。

変わらないえがお

戦場のすがたなんてしらなかつたよ

ごうの中につくられた病院

けがをした兵隊さんでうめつくされた2段ベット

きず口にわくうじをとる

手じゅつの手伝い、ごはんや水の用意

死体をうめる

休む間もなく働く日々

命をかけたきけんな仕事。

それでも「お国のためにがんばろう。」と。

はげしくなる戦争

ばくだんにうたれ大けがをした友達

きずに苦しみながらなくなる兵隊さん

毎日たくさんの命がうばわれていくのをみた。

「お母さん、お母さん。」

最後にでてくるのは、家族のこと

仲間との楽しい思い出

死にたくなつてなかつた

戦争がなければ、家族や友達は失われなかった

戦争がなければ、もっと生きることができた

もっと一緒にいたかったよ

もっと一緒に話したかったよ

かべにかざられた写真の一人一人が

私に語りかける

「家族や友達、多くの命がうばわれる戦争をもう

くり返してはならない。」

「命を大切にするんだよ。」

私は、手をあわせてちかう

「もう二度と戦争はしない。」

「あなたの教えてくれたことはむだにはしない。」